

(案)

大津市 水道事業 湖都大津・新水道ビジョン改訂版の概要

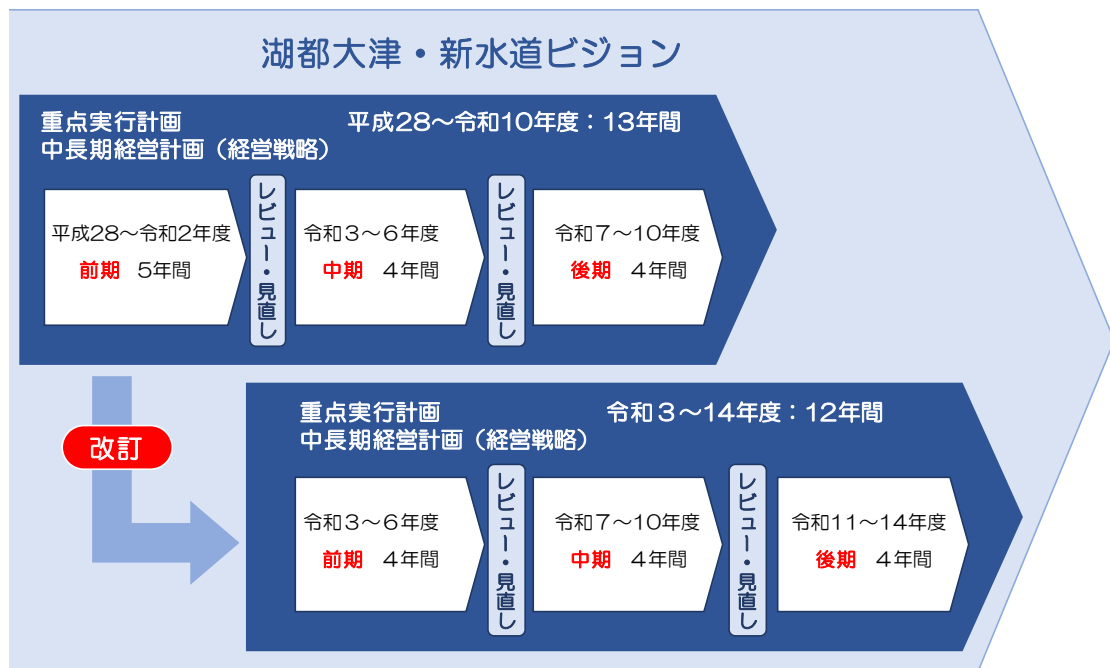
1. 改訂理由 (本編 P.3)

本市は、平成 27 年度に「湖都大津・新水道ビジョン 重点実行計画 中長期経営計画（経営戦略）」（以下「本計画」という。）を策定し、平成 28 年度から本計画に基づき水道事業を経営してきました。

国が「経営戦略は策定して終わりではなく、毎年度、進捗管理を行うとともに、3～5 年毎に改定していく必要がある。」としていることも踏まえ、過去 4 年間（平成 28 年度～令和元年度）における本計画の目標達成度の検証及び評価を基に、今後の施策や投資・財政計画を見直し、より質の高い計画とするために改訂するものです。

2. 計画期間 (本編 P.5)

本計画の改訂にあたり、国が示す「経営戦略策定・改定マニュアル」に基づき、計画期間を令和 3～14 年度までの 12 年間に改めます。



3. 基本方針と主要施策に関する改訂のポイント

(1)基本方針 (本編 P.46)

引き続き、平成 27 年度に定めた 3 つの基本方針を継続します。

- I. **安全**で安心な湖都大津の水道
- II. **強靱**な湖都大津の水道
- III. **健全**で**持続可能**な湖都大津の水道

(2)主要施策（主な改訂内容）

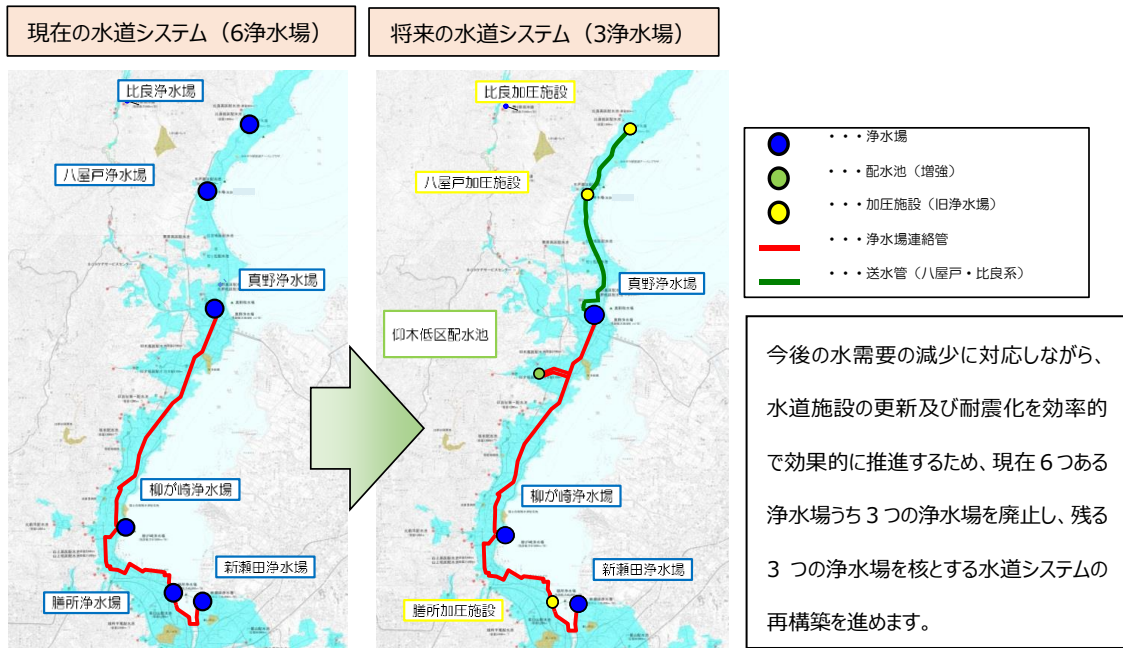
【基本方針Ⅰ：安全で安心な湖都大津の水道】

水質管理の充実と強化（本編 P.59）

- **【充実】**平成 28 年度に認定取得した水道 GLP の認定継続

【基本方針Ⅱ：強靱な湖都大津の水道】

水道システムの再構築 浄水場の廃止（6 浄水場を 3 浄水場へ）（本編 P.71）



- **【変更】**水需要予測にあわせ、膳所浄水場の廃止予定を令和 9 年度から令和 14 年度に延伸（本編 P.72）
- **【充実】**真野・柳が崎浄水場間の連絡管の更新、仰木低区配水池の増強により、主要 3 浄水場の相互融通機能を強化（本編 P.74）

水道施設の計画的な更新（本編 P.76）

- **【充実】**大規模な更新を真野、柳が崎及び新瀬田浄水場の 3 つに重点化

危機管理体制の強化（本編 P.94）

- **【充実】**近年の全国各地の風水害の被害状況をふまえ自家発電機などの停電対策を強化

【基本方針Ⅲ：健全で持続可能な湖都大津の水道】

広報・広聴活動の充実とお客サービス向上（本編 P.100）

- **【充実】**大津市企業局広報戦略（令和元年度策定）に基づき、お客様とのコミュニケーションを高めることに重点を置き、SDGs を意識して戦略的に広報活動を実施

広域化の推進（本編 P.112）

- **【充実】**水道法改正を契機とし、滋賀県が策定する広域化推進プランへの参画など、種々の施策を実施

(3)総事業費（本編 P.122）

- 総事業費（投資に要する費用）は令和 3 年度から令和 14 年度までの 12 年間で約 427 億円であり、うち改良工事業費が全体の 7 割以上を占めています。

「施策体系図」

安全

基本方針Ⅰ. 安全で安心な湖都大津の水道

- (1) 水質管理の充実と強化
 - ① 水安全計画の運用と浄水管理センターによる総合監視体制の強化
 - ② 水質検査体制の充実と強化
 - ③ 水源水質の監視と水源の保全活動
 - ④ 水道施設の保安対策の強化
 - ⑤ 水質を維持するための管路の洗浄作業
 - ⑥ 水道未普及地域の解消
- (2) 給水装置の水質確保
 - ⑦ 鉛製給水管の解消
 - ⑧ 給水装置、貯水槽水道の管理強化
 - ⑨ 直結給水方式の拡大

強靱

基本方針Ⅱ. 強靱な湖都大津の水道

- (1) 水道システムの再構築
 - ① 浄水場の廃止（6浄水場を3浄水場へ）
 - ② 浄水場連絡管による相互融通機能の強化
- (2) 水道施設の計画的な更新
 - ③ 水道施設（浄水場、配水池、加圧施設）の計画的な更新
 - ④ 水道管路の計画的な更新
 - ⑤ 送配水施設の効率的な整備
 - ⑥ 配水ブロックの構築
- (3) 水道施設の耐震化
 - ⑦ 水道施設（浄水場、配水池）の耐震化
 - ⑧ 水道管路の耐震化
- (4) 危機管理体制の強化
 - ⑨ 応急給水施設の整備
 - ⑩ 停電対策の強化【新】
 - ⑪ 災害対応力の強化

持続

基本方針Ⅲ. 健全で持続可能な湖都大津の水道

- (1) 安定水源の確保
 - ① 琵琶湖表流水水利権の確保
- (2) 広報・広聴活動の充実とお客様サービスの向上
 - ② 広報活動の充実
 - ③ お客様ニーズの把握とお客様サービスの向上
- (3) 事業経営と業務の効率化
 - ④ アセットマネジメント活動の継続推進
 - ⑤ 民間的経営手法の活用検討
 - ⑥ 局資産の有効活用と資金管理の効率化
 - ⑦ 料金体系の見直しの継続的な検討
- (4) 人材育成と活力ある組織づくり
 - ⑧ 人材育成・技術継承と組織体制の最適化
- (5) 広域化の推進
 - ⑨ 広域化の推進と他水道事業者との連携促進
- (6) 環境施策の推進
 - ⑩ 資源・エネルギーの有効利用
 - ⑪ 漏水防止対策の推進

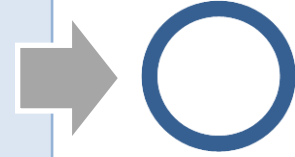
4. 投資・財政計画（本編 P.129）

経営目標

経営目標① 現預金残高 40 億円を確保する。

経営目標② 企業債残高を 181 億円以下とする。

経営目標③ 健全な収支バランスを維持（当年度純利益を確保）する。



計画期間内において、現行料金水準を維持しつつ、全ての目標を達成！

○収益的収支

（単位：百万円）

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
営業収益		6,138	6,108	6,096	6,052	6,024	5,992	5,976	5,929	5,898	5,868	5,847	5,795
うち 料金収入		6,053	6,023	6,011	5,967	5,940	5,907	5,891	5,844	5,813	5,783	5,762	5,710
うち 受託工事収益		25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25
うち その他		60	60	60	60	59	60	60	60	60	60	60	60
営業外収益		981	963	984	995	993	968	945	955	938	959	970	936
うち 他会計繰入金		20	19	18	17	17	16	15	15	14	14	13	12
うち 長期前受金戻入		671	671	673	672	659	649	650	650	651	652	651	607
うち その他		290	273	293	306	317	303	280	290	273	293	306	317
収入計		7,119	7,071	7,080	7,047	7,017	6,960	6,921	6,884	6,836	6,827	6,817	6,731
営業費用		5,965	5,868	5,914	6,114	6,037	6,142	5,983	5,894	5,971	6,172	6,265	6,211
うち 職員給与		706	700	704	750	740	711	677	669	658	717	730	693
うち 経費		2,541	2,371	2,362	2,466	2,392	2,499	2,352	2,252	2,283	2,371	2,410	2,407
うち 減価償却費		2,718	2,797	2,848	2,898	2,905	2,932	2,954	2,973	3,030	3,084	3,125	3,111
営業外費用		361	320	321	317	341	287	249	251	223	235	243	250
うち 支払利息		286	263	244	225	211	198	187	176	166	158	151	147
うち その他		75	57	77	92	130	89	62	75	57	77	92	103
支出計		6,326	6,188	6,235	6,431	6,378	6,429	6,232	6,145	6,194	6,407	6,508	6,461
經常損益		793	883	845	616	639	531	689	739	642	420	309	270
特別利益		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当年度純利益		793	883	845	616	639	531	689	739	642	420	309	270

○資本的収支

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
企業債		1,015	1,080	1,006	1,258	1,293	1,330	1,099	1,055	1,020	1,201	1,341	1,118
他会計出資金		113	71	363	358	281	95	96	121	184	171	199	134
他会計負担金		10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
国（都道府県）補助金		0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
工事負担金		93	93	93	93	93	93	93	93	93	93	41	41
収入計		1,231	1,257	1,477	1,719	1,677	1,528	1,298	1,279	1,307	1,475	1,591	1,303
建設改良費		3,963	3,252	3,601	3,922	3,817	3,439	3,179	3,478	3,607	3,597	3,630	3,222
企業債償還金		1,298	1,307	1,315	1,305	1,305	1,339	1,374	1,360	1,314	1,243	1,254	1,288
支出計		5,261	4,559	4,916	5,227	5,122	4,778	4,553	4,838	4,921	4,840	4,884	4,510

○他会計繰入金

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
収益的収支分		48	47	46	45	45	44	43	43	42	42	41	40
資本的収支分		123	81	373	368	291	105	106	131	194	181	209	144
合計		171	128	419	413	336	149	149	174	236	223	250	184

○経営目標設定値の推移

区分	年度	前期				中期				後期			
		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
経営目標① 現金・預金		3,890	3,822	3,977	3,959	3,921	3,904	3,998	4,063	3,969	4,017	4,120	4,093
経営目標② 企業債残高		16,611	16,384	16,075	16,028	16,016	16,007	15,732	15,427	15,133	15,091	15,178	15,008
経営目標③ 当年度純利益		793	883	845	616	639	531	689	739	642	420	309	270